

第Ⅰ部：基調講演



デービッド・アトキンソン氏 株式会社小西美術工芸社代表取締役社長

オックスフォード大学（日本学専攻）卒業後、大手コンサルタント会社や証券会社を経て、1992年ゴールドマン・サックス証券会社入社。当時誰も把握できなかった大手銀行の不良債権問題をいち早く指摘し、銀行再編の契機を作った。同社取締役を経てパートナー（共同出資者）となるが、2007年退社。2009年に創立300年余りの国宝・重要文化財の補修を手掛ける小西美術工芸社入社、取締役に就任。2011年代表取締役会長兼社長、2014年以降代表取締役社長に就任し現在に至る。1999年に裏千家に入門し、2006年に茶名「宗真（そうしん）」を拝受。2016年財界「経営者賞」、2017年「日英協会賞」受賞、2018年総務省「平成29年度ふるさとづくり大賞個人表彰」、2018年日本ファッション協会「日本文化貢献賞」受賞。著書は『新・観光立国論』（山本七平賞、不動産協会賞、東洋経済新報社）など多数。

第Ⅱ部：パネルディスカッション



湯崎 英彦氏 広島県知事

1965年広島市生まれ。90年東京大学法学部卒、通商産業省（現・経済産業省）入省。95年スタンフォード大学経営学修士、98年夏～2000年春に米のベンチャーキャピタルに外向。同年3月通産省を退官しブロードバンド通信会社「アッカ・ネットワークス」を設立、代表取締役副社長に就任し上場企業に育てあげる。08年3月に同社取締役を退任、翌年11月に広島県知事に初当選し、現在4期目。瀬戸内に点在する観光資源を活かし、地域経済の活性化をめざす「瀬戸内 海の道構想」を提唱。その後も「おいしい！広島県」キャンペーンなど、様々な取組を行ってきた。第3子が誕生した10年10月には都道府県知事で初めて育児休暇を取得したイクメン知事としても知られる。趣味はスキー、キャンプ、サイクリング。好きな言葉は「志と覚悟」。



仮井 康裕氏 広島電鉄株式会社代表取締役社長

1983年立命館大学経営学部を卒業後、広島電鉄に入社し、主にバス事業の企画業務や本社での人事労務管理業務などに従事。1999年に新設した広島市西部エリアのバス事業子会社「エイチ・ディー西広島」の社長として、地域密着型経営を定着させた。2012年の呉市交通局のバス路線全面移管にあたっては準備段階から携わり、執行役員呉バスカンパニープレジデントとして呉エリアでのバス事業再生に道筋をつけた。2020年に常務取締役、2023年に代表取締役専務に昇任。2024年からは代表取締役社長として日本初のABT方式を採用した新乗車券システムの開発など交通政策分野や、DX・IT分野、広報分野のかじ取りを担っている。



広岡 研二氏 西日本旅客鉄道株式会社理事中国統括本部広島支社長

1969年生まれ。富山県出身。JR発足後の1992年にJR西日本に入社し、京都で駅社員、福岡で新幹線運転士を務めた後、本社、京都支社、大阪支社、新幹線管理本部で輸送計画や企画、総務、人事、財務部門等に従事。直近では本社鉄道本部でコロナ禍での鉄道事業の経営改善施策などを担当。その中で中国エリアの組織見直しの検討も担当し、2022年6月に理事広島支社組織変革準備室長として広島に着任。同年10月の組織改正後、広島県、山口県を担当エリアとする広島支社長となり、瀬戸田島での地域まちづくり、瑞穂・etSETOra等の観光列車による観光振興、プロスポーツと連携した地域振興、地域産品開発コンサルティング等、様々な地域共生活動を通じた持続可能な地域社会づくりの実現に向けて取り組んでいる。



井坂 晋氏 瀬戸内ブランドコーポレーション取締役投資本部長 ひろぎんエリアデザイン常務取締役

広島県広島市中区出身。1994年、広島銀行へ入行。2001年、しまなみ債権回収へ出向し事業再生業務に従事。2011年以降、広島銀行法人営業部にて、「瀬戸内 海の道構想」の策定、せとうちDMO設立、広島空港の民営化等の観光関連事業に携わる。その後、広島国際空港の副社長を経て、2021年より瀬戸内ブランドコーポレーション代表取締役に就任。現在も同社取締役投資事業本部長として投融資を通じた事業化支援に携わっている。また、2023年より、ひろぎんエリアデザイン常務取締役に就任。同社のビジョンである「ココロおどるゆたかな暮らしの創造」に向け、広島県を中心に観光やまちづくりの観点で地域社会の課題解決、活力ある地域の実現に取り組んでいる。



西原 明史 安田女子大学国際観光ビジネス学科教授

1989年九州大学教育学部を卒業後、同大学院で文化人類学を専攻する。シルクロードに魅せられ中国新疆ウイグル自治区でフィールドワークを実施。92年～93年には新疆師範大学に留学するなど、現地の暮らしに溶け込む参与観察を長年にわたって続け、少数民族ウイグル族の社会構造と民族関係を明らかにしてきた。1998年安田女子大学着任。主に異文化理解に関わる授業を担当。人間科学科、生活デザイン学科を経て2015年から国際観光ビジネス学科に所属、授業の一環として広島市近郊の地域振興に関わり始めた。地元の方たちと深い関係を築きながら研究する文化人類学の手法で観光まちづくりに取り組んでいる。今の課題は島の歴史や特産物を活かした似島のブランド化。